別記第五十三号様式を次のように改める。

別記第五十三号様式（第三十七条関係）

番　号 年月日

日本国政府法務省

認　定　通　知　書

殿

あなたに対する出入国管理及び難民認定法第24条に規定する退去強制事由該当容疑事件に関し、審査を行った結果、下記のとおり認定したので、通知します。

認　定　要　旨

（1）上記の認定に不服があるときは、この通知を受けた日から３日以内に特別審理官に対し口頭審理の請求をすることができます。

（2）本邦への在留を希望する場合には、法務大臣に対し在留特別許可の申請をすることができます。

（3）上記の認定に服した日から３日以内に、在留特別許可の申請をしなかった場合は、退去強制令書が発付されます。

（4）退去強制令書が発付された後は、在留特別許可の申請をすることができません。

出入国在留管理庁　　出入国在留管理局

入国審査官　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注）用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番又はＡ列５番とする。

別記第五十四号様式の次に次の一様式を加える。

別記第五十四号の二様式（第三十七条関係）

番　号

日本国政府法務省

年　　月　　日

在留特別許可申請放棄書

出入国在留管理庁　　出入国在留管理局

主任審査官　殿

私は、出入国管理及び難民認定法第50条第１項の規定による許可の申請をしません。

１　氏　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　男／女

２　生年月日　＿＿＿＿＿＿　年　　月　　日

３　国籍・地域　＿＿＿＿＿＿＿＿

４　居住地　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署　　名

（注）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。